



私たちは
フクシマを
忘れない

全造船関東地協労働組合
よこはまシティユニオン
横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505
TEL 045-575-1948
yuniyoko.sakura.ne.jp

福島第一原発の汚染水を 海に流すな！

うすめても放射能は減らない 漁業者の反対を無視して突然決定

4月13日、政府は関係閣僚会議を開き、福島第一原発にたまり続ける放射能で汚染された水を、うすめて海に流して捨てる方針を決めました（海洋放出）。その量は125万トンにもなります。1週間前の7日に、全国漁業協同組合連合会の岸会長が、菅総理大臣に、海洋放出に断固反対する強い意思を伝えたにもかかわらず、それを無視して決定しました。

放出するのは事故で汚れた水 二次処理でも取りきれない放射能

福島第一原発では、溶け落ちた核燃料を冷やす水や、こわれた建屋に入り込む地下水で毎日約140トンの汚染水が発生し、増え続けています。政府や東電は、この水は放射能を取り除く「ALPS」という装置で処理してからタンクに貯めるので、水と同じ性質の「トリチウム」（三重水素）という放射性物質以外は残らないと言ってきました。ところが、2018年、東京電力は、タンクに貯められている水の7割にストロンチウムやセシウムなど、排出基準濃度を大きく超える放射性物

質が含まれていることを、明らかにしました。

トリチウム以外の放射性物質は、もう一度「ALPS」にかけて「二次処理」としていますが、それでも残る12種類の放射性物質のうち11種類は通常運転の原発の排水には含まれていないものです。その一つの「セシウム135」は半減期が230万年です。トリチウム自体も危険性が指摘され、実際の被害が訴えられています。

事故で汚染された水をタンクの中に長年貯めた例は世界にありません。一度海に流したら、放射性物質を回収することなど不可能です。絶対の安全を証明できないからこそ、汚染水を海に流してはいけません。

他の方法があるのに 再処理工場からも流すため？

政府は、用意できるタンクが満杯になるので海に流すしかない、と結論づけました。しかし、「大型タンク貯留案」や「モルタル固化処分案」など、陸上で保管する案をきちんと検討していません。また、トリチウムを分離して取り除く研究も進められていますが、援助する姿勢はありません。

<裏面に続く>

福島漁業者は、努力を重ねて、原発事故後の試験操業を続け、この4月から、本格操業を始めたばかりです。周辺諸国や国連の特別報告者（人権と環境担当）までが慎重な対応を求めているのに、政府が海洋放出のこだわるのは、なぜなのでしょう。



費用の問題だけとは思えません。日本の全部の原発から排水として出される一年分の放射能の量を、毎日、毎日排出するという、とてつもない汚染源になる青森

県六ヶ所村の核燃料再処理工場を動かすために海洋放出の実績が必要なのです（現在、再処理工場はトラブル続きで、稼働の見込みはありません）。

これ以上、放射能を 生み出しても捨ててもいけない

放射能を無害にする力は、人間にも自然界にもありません。何万年という時間がかかろうとも、放射能が少なくなるまで待つしかないのです。政府と東京電力には、福島第一原発の汚染水を管理し続ける責任があります。

黒潮と親潮が交わる豊かな漁場を守り、世界につながる海を汚さないため、海洋放出には絶対反対です。【組合員 N】

これ以上、放射能を 生み出すな！捨てるな！

■故長尾さんの闘いを胸に

よこはまシティユニオンの組合員だった長尾光明さん（故人）は福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫（血液のガン）を発症し労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起しましたが、東電は労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました（最高裁2010年4月）。

■原発で働く労働者と共に

原発は電力会社を元請とした4～8次の下請会社で稼働しています。3.11以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病になったあらかぶさん（40代男性）は2016年11月22日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴し闘っています。ぜひ多くの皆さまのご支援をお願いします。

■職場の問題、いつでもご相談を！

私たちは、東日本大震災や原発事故を忘れないため毎月11日に街頭宣伝活動を始めて丸10年になります。これからも何ができるのかを一緒に考えたいと思います。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう！